



令和8年4月1日付け 人事異動



人事異動の基本方針

① 未来を築く、歴史的課題へ挑戦できる人財の登用

人口減少、超少子高齢社会や頻発化・激甚化する災害、危機への対応など、時代の転換期における歴史的課題に対して、本県の未来を見据えたあるべき姿を逆算しながら、所管に囚われずに、中長期的な施策を展開することができる人財を登用する。

② 困難な課題にチャレンジしている人財の登用

日本一暮らしやすい埼玉の実現に向けて、DX・TXを前提とした行財政改革の推進や労働生産性の向上をはじめ、社会・経済・産業・自然・人材などあらゆる分野において本県の困難な課題にチャレンジしている職員を積極的に登用する。

③ マネジメント力ある人財の登用

職員の主体的な企画提案やスキルアップを後押しすることなどにより職員的能力を引き出し、風通しがよくやりがいを感じられる職場環境を整備することができる職員を積極的に登用する。

異動者数

(教育局、警察本部を除く)

2,411名 (前年度比 ▲61名)



令和8年4月1日付け 人事異動



女性活躍の推進

女性管理職の人数・割合は過去最高を更新

○女性職員の登用状況

女性管理職	令和7年度	令和8年度
人数	127名	137名
割合	15.1%	16.5%

将来を見据えた女性配置も併せて実施

- ・令和8年度も本庁の全ての部局に女性課長を配置
- ・女性職員の職域拡大や人材育成を意識した人事配置を実施

○初めて女性を登用(課長級以上)

教育長(特別職)	石川 薫 *	(63)	東京成徳大学深谷中学・高等学校校長から
監査事務局長(部長級)	檜山 志のぶ	(58)	(公財)いきいき埼玉副理事長から
都市政策・公園局長(部長級)	浪江 美穂	(58)	地域経済・観光局長から(昇任)
まちづくり局長(副部長級)	山田 暁子	(57)	統括参事から
危機管理防災部 副部長	小沢 きよみ	(57)	商業・サービス産業支援課長から(昇任)
危機管理課長	加藤 絵里子	(55)	議会事務局 図書室長から
杉戸県土整備事務所長	須永 寛子	(54)	道路街路課 副課長から(昇任)

* 生え抜きの職員としては、女性初の教育長



令和8年4月1日付け 人事異動



時代の転換期における歴史的課題に対処するため、経験・実力を重視して配置

部長 への登用

総務部長	三橋 亨	(59)	人財政策局長から(昇任)
環境部長	竹内 康樹	(57)	環境部 副部長から(昇任)
産業労働部長	萩原 啓	(43)	雇用労働局長から
県土整備部長	小島 茂	(59)	企業局長から
都市整備部長	中村 克	(58)	まちづくり局長から(昇任)
会計管理者	堀口 幸生	(59)	環境部長から



令和8年4月1日付け 人事異動



主要施策の要となるポストへの登用

人口減少、超少子高齢社会への対応

地域包括ケア局長	内田 貴之 (54)	産業労働政策課長から(昇任)
こども支援課長	古川 由夏 (57)	川越比企地域振興センター 東松山事務所長から
まちづくり局長	山田 暁子 (57)	統括参事から 再掲

激甚化・頻発化する災害、危機への対応

統括参事(兼務)	鈴木 健志 (45)	埼玉版FEMA推進幹
災害対策課長	福山 一郎 (53)	(公財)埼玉県公園緑地協会しらこぼと公園管理事務所長から
保健医療部参事 兼 感染症対策課 感染症対策幹	得津 馨 (61)	草加保健所長から
下水道局長	小島 孝文 (58)	契約局長から(昇任)
下水道管理課長	鯨井 素子 (57)	秘書課長から
下水道事業課 管路対策幹	影嶋 浩一 (54)	建設管理課 副課長から(昇任)

日本一暮らしやすい埼玉の実現に向けた対応

県民スポーツ文化局長	高野 正規 (58)	スポーツ振興課長から(昇任)
みどり自然課 野生鳥獣対策幹 新設	佐藤 憲 (51)	(株)デジタルSKIPステーション経営管理部長から
農林部 副部長	永留 伸晃 (59)	秩父農林振興センター所長から
都市政策・公園局長	浪江 美穂 (58)	地域経済・観光局長から(昇任) 再掲
大宮スーパー・ボールパーク整備推進幹 新設	大山 直宏 (54)	(公財)埼玉県公園緑地協会総務部長から

さいたまスーパーアリーナ バリューアップ・ネーミングライツパートナーの決定について

愛称

GMOアリーナさいたま

ロゴ

GMO ARENA
s a i t a m a

GMO
ARENA
s a i t a m a

パートナー企業

GMOインターネットグループ株式会社

愛称使用期間

令和8年4月1日から令和14年3月31日（6年間）

命名権料（税抜）

5億5千万円／年（令和9年度から13年度）

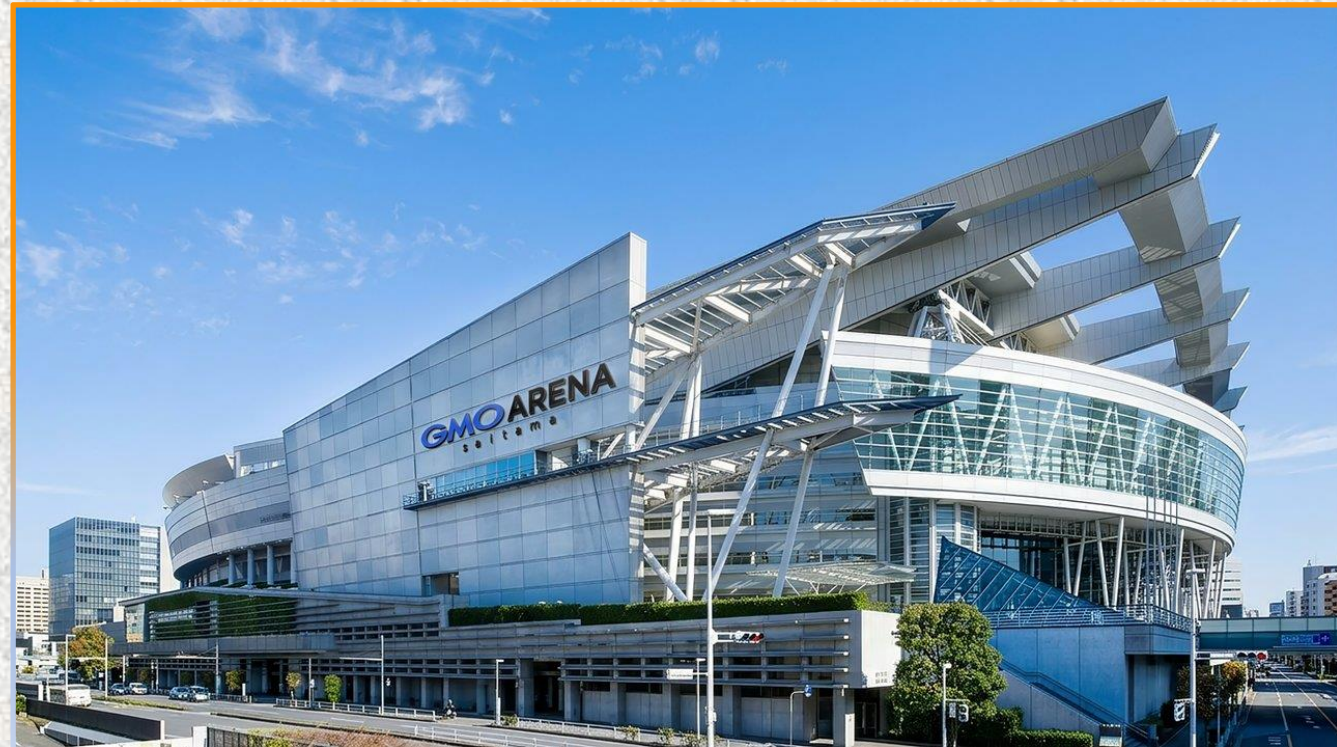
5千万円／年（休館中の令和8年度のみ）

バリューアップ提案

- ・ホスピタリティ設備、機能の強化
- ・高速通信回線の整備
- ・館内売店のキャッシュレス決済導入
- ・A I、ロボットの導入
- ・にぎわい創出に向けた各種イベント実施

契約締結式

本日16時55分から 契約締結式を開催



バリューアップ提案の内容

ホスピタリティ設備、機能の強化 (令和9年度～)

- ・ VIPルーム内装を
“おもてなし・接客スペース”として改装
- ・ イベント主催者のニーズに応じて、
特別サービスメニューを用意し、
来場者にプレミアムな体験を提供



高速通信回線の整備と活用 (令和9年度～)

- ・ 2階コンコース及びVIPルームに
来場者向けWi-Fiを整備
- ・ エリア内のキャッシュレス決済やモバイル
オーダーを導入
- ・ 配送や警備、清掃ロボット及び
ヒューマノイドの実証実験を導入



にぎわい創出に向けたイベント実施 (令和8年度～)

- ・ 現役アスリートが直接指導する、
ランニング教室を定期開催
- ・ けやきひろば開催イベントに、積極的に
協力・協賛



さいたまスーパーアリーナ休館期間の短縮

令和8年1月13日から最大18か月 ⇒ 令和9年3月末予定 (※令和9年4月 リニューアルオープン)

県道松戸草加線の暫定2車線供用開始

八潮市道路陥没事故

- 令和7年1月28日、中川流域下水道管の破損に起因するものと考えられる道路陥没事故が発生
- 県道松戸草加線の八潮市内中央一丁目交差点付近が全面通行止め

往復2車線での暫定供用を開始

- 令和8年2月に破損した下水道管の復旧が完了
- 通行止めに伴う影響を緩和するため、往復2車線での暫定供用に向けた道路復旧を実施

**令和8年4月15日(水)午前10時
通行止め解除し、暫定2車線供用開始**

- 引き続き、全面復旧に向けた工事を進める

